

波瀾万丈

シリーズ企画「クロスアップ校友会員 第三弾」

シリーズ企画「クロスアップ 波瀾万丈 第三弾」校友と交友を温めて新しきを知る

企画 東洋大 学友会
制作 鹿児島県支部 編集部

波瀾万丈

青春を戦争に捧げ 家族が皆空襲で逝く 絶望の淵からの再興

クロスアップ・桐原正吾会員

インタビュー 岩城 健 / 文章 春野 洋治郎 / 写真 デザイン 西元 大作

戦後65年の歳月が流れ、戦争を自ら体験し語れる世代が少なくなっています。今回お伺いした桐原さんは、太平洋戦争末期、戦局が悪化する時代に東洋大へ進学され、学徒出陣で海軍に入隊、そして特別攻撃隊「人間魚雷「回天」」の訓練を受け、国のために命を捧げる覚悟までなさいました。しかし、鹿児島大空襲によってご家族が一瞬に全滅、遂に終戦を迎えます。



自らの命はとりとめたものの、家族や家を失うという堪え難い絶望の淵から、裸一貫で「桐原正吾醸造店」を立ち上げ、平成になってからは鹿児島県味噌醤油工業協同組合の理事長をお務めになりました。大先輩桐原さんの粉骨砕身・波瀾万丈の人生を語っていただきました。



桐原正吾
特技/柔道(柔道5段) 趣味/随筆・社交ダンス

プロフィール

- 大正14年 鹿児島市堀江町に生まれる
- 昭和18年 東洋大学経国科(専経国科)入学
- 昭和19年 学徒出陣～海軍入隊
- 20年 海軍特別攻撃隊に配属
鹿児島大空襲～終戦～卒業
- 22年 旧 加世田市万世で桐原醸造店創業
- 25年 妻 照代と結婚 6畳一間で伯父夫婦と暮す
- 32年 有限会社桐原商店と店を法人化
- 35年 新居兼桐原醸造直売店を加世田市に構える
- 36年 加世田商工会議所発足 議員就任
後に副会頭を経て、現在は特別顧問
- 61年 鹿児島県味噌醤油組合 理事就任
- 平成 4年 同組合理事長就任
- 16年 同組合員として後進指導にあたり現在に至る

キカントレ時代



岩城 幼少期をお聞かせください。

桐原 父が堀江町で味噌・醤油の製造販売を営んでおりましたので、いつも、ボサドあたりは格好の遊び場でした。当時はキカントレもキカントレで勉強は殆どしなかったですね。喧嘩や悪さはかりしてました。

岩城 わんぱくだったんですね。それで、鹿児島商業高校から東洋大学へ進まれたのですが、志望の動機は何だったのですか。

桐原 昭和17年くらいまで戦局はまだ日本に有利でしたが、翌年あたりから形勢が逆転していきます。軍隊に入つて、革靴をはくのが格好良かった時代です。父親は、大学に行けば軍隊に入らなくて済むと思っていたようです。私は、軍隊に行けば、ほたい死ぬばかいらいと、どこかさめたところがありません。本当の志望動機は、崇拝していた鹿児島大学の部長さんが東洋大学にいらつたからです。

学徒出陣で神宮外苑を行軍

岩城 大学時代の思い出をお聞かせください。



桐原 昭和17年12月に鹿児島商業高校を卒業して、翌年の3月に東洋大学へ入学しました。学部は経国科(専経国科)現在は無いです。国家総動員体制で勉強どころではないです。私は大川周明の学生寮に入っていました。食べるものには不自由なものでしたが、朝3時半に起床し、訓練、日中は軍需工場勤務奉仕の日々でした。ですから、大学の授業は友だちに代返してもらつたりで、勉強らしい勉強は出来ませんでした。大学には1～2年在籍しただけです。戦後、卒業証書はちゃんといいただいたんですが、あの当時、戦局が悪化し、軍隊に入ることになりました。

鹿児島大空襲で家族全員を失う

岩城 やはり任地を転々とされたわけですか。

桐原 海軍予備生として三重の航空隊に入隊しましたが、練習機が無いということで中国の旅順へ派遣されました。旅順で見習士官としての教育を受け、内地へ帰つてきました。昭和20年春のことです。それから終戦まで、長崎県の川棚では「震洋」、山口県平生では「回天」、横須賀で「海童」と特攻隊員として訓練を受けました。特攻訓練は国家機密ですから、移動するにも汽車の窓にはカーテンがかけられていて、どこに連れて行かれるのかさえわかりませんでした。

岩城 特攻隊員だったら、当然死を覚悟されていたわけですか。

桐原 はい。祖国に命を捧げる覚悟はできていたんですが、当然死を覚悟はできていたんですが、

忘れられない母の愛情

岩城 お亡くなりになったご家族のことで思い出がございませんか。

桐原 父は厳しい人で、悪いことをすると、こんこんと説教する人でした。味噌・醤油の製造販売に加えて麻袋を扱うなど、商売に関して非常に研究熱心でした。私の実の母は小さい頃に亡くなり、育ててくれたのは継母だったので、軍隊時代転属先を追いかけるように、その継母から手紙がよく届きました。(次項右上参照)

手紙に記された継母のやさしい心づかいと深い愛情に、私はどれだけ元気づけられたかわかりません。継母もあの空襲で亡くなつてしまいましたが、私の手元には、数え切れないほどの手紙が宝物として今も残っています。

岩城 いやあ、すごくいいお話ですね。

桐原 後で聞いて知ったことですが、継母が家に来た頃は嫁入り道具を水浸しにするなど、ずいぶんひどいことをしたらしいのです。新しい母親になじめなかつたので、う。しかし、継母は腹ちがいではあつても、

桐原さんのアルバムより

- ① 正吾11才(矢印)の時 家族で記念写真(昭和11年)
- ② 父 武二氏(昭和15年)
- ③ 学徒出陣の後、海軍に入隊。海軍予備生として最初の配属先の旅順で(昭和19年5月)昭和42年にこの時の同期生達による二水会が発足。今でも熱い交流が続いている。





写真を観れば分かるように桐原さん、奥様ともに、「かお遍歴」はとても良い感じで遍歴されておられます。激動の昭和にあって、戦中・戦後の日本を背負い、希望を持ち懸命に復興させてくれた「かお」がここにあります。

②明治神宮前で軍事演習。(昭和19年) ⑩学徒出陣壮行会で東洋大学経國科の学友達と(昭和19年) ⑪経声会(経國科の学友達)屋久島にて(平成初頃) ⑫奥様と共に直売店の前で(昭和35年) ⑬おしどり夫婦ぶりは広告にも掲載される程(平成22年) ⑭興に乗るとお得意のダンスを披露 ⑮南日本新聞杯ゴルフ大会、ナイスショットでガッツポーズの奥様(平成22年) ⑯現在の桐原醸造店舗外観(平成22年)

ライター紹介
春野 洋治郎

一行のチカラ、一文字のチカラを信じて、広告物・出版物の文章執筆を行う。ネット上で一日おきに題材を無償で提供する「1日おきにつづる話のタネ」は、足かけ10年で1600話以上を執筆。小説等の執筆も行い2010年『日本動物児童文学優秀賞』を受賞。『1日おきにつづる話のタネ』ホームページを運営。下記がアドレス。
<http://www.minc.ne.jp/~hunter/>

岩城 終戦になって家族は一人もいない、家はない、いわば天涯孤独の身になったわけですが、どうなさったんですか。

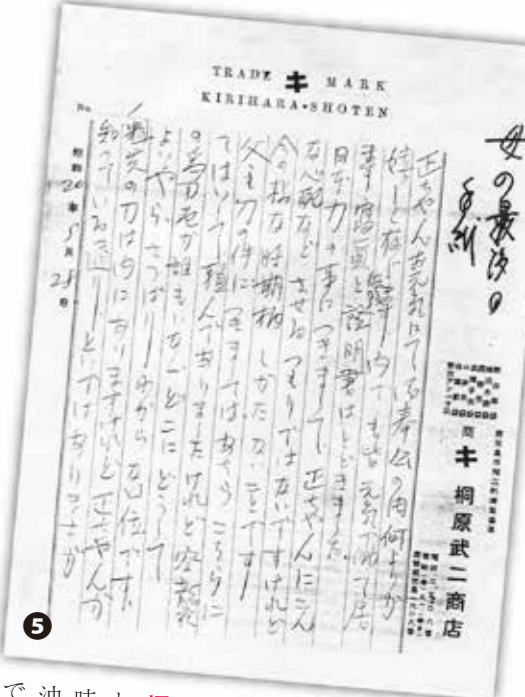
無軌道な時代、そして起業

4人の子どもを分けへだてなく育て、愛情をたっぷりそそいでくれました。いくら感謝しても感謝しきれないですね。



④母スエ(昭和11年) ⑤母からの最後になった手紙の一部(日付:昭和20年5月28日) 手紙は昭和19年8月から翌年5月28日までの約9ヶ月間に20通あった。

正ちゃん、大元氣にて御奉公の由何よりか嬉しく存じます。内でも皆大元氣にて働いて居ます。御安心下さい。朝な夕なにみんなで武運強かれと祈つて居ます。写真がとどきました。本当になつかしいでした。とてもおせらしい姿です。以下略



岩城 やはり、最初のうちはご苦労なさったんではないですか。

新天地で味噌醤油製造

岩城 それで「桐原正吾醸造店」を起さるわけですが、場所が南薩の加世田ですね。何故、鹿児島市ではなかったのですか。

桐原 私の出身校である鹿児島商業高校の大先輩に、加世田出身の吉峯喜八郎さんがいらつしやいます。この方は加世田で代々続く「子屋」という老舗商家の社長さんで、私の身を案じ親身になって相談のつてくださったのです。この方との縁があつて、知人が一人もない加世田の地で創業できたのです。

桐原 いつまでもそんな暮らしを続けるわけにはいきませんから、父の生業だった味噌醤油のことを学ぼうと味噌醤油油公団に入りました。一年間ですが、ここ二通りのことを身につけました。

岩城 ところで味噌醤油の方は？

桐原 醸造業は戦後の時期は統制経済で、だいぶ助かったような気がします。しかし、自由競争の時代になり、商売は二気に競争が激化しました。私はこのままではいけないと小売店に卸すだけでなく、当時では画期的な製造直売及び一般家庭への配達を始めました。配達先は加世田市で二千件程あつたでしょう。またトラックも購入し、販路を拡大、南薩地区の殆どの小売店に卸販売するまでになりました。妻は従業員と直売店で小売りや配達の注文を受けたりと、夫婦で店の信用を得る為に無我夢中で働きました。

岩城 今、振り返ってみますと創業からあつという間に経つた63年でした。妻をはじめ周りの多くの人たちに支えられてきたから、昭和・平成という時代を歩んで来ることが出来たのだと感謝の気持ちでいっぱいです。

岩城 学友との絆、そして後輩達へ

桐原 経國科の名前をとって経声会という校友の集まりがあります。30年程交流が続いております。また、東洋大学が創立百十周年記念に建立された平和記念碑の除幕式にも参加させていただきました。

岩城 最後にになりましたが、後輩に向けてメッセージをいただけませんか。

桐原 東洋大学は新校舎ができ、箱根駅伝で優勝するなど人気も高く、受験者も格段に多くなつたとうかがっています。私の時代に比べれば、勉強しようと思えばどれだけでもできる環境が整っています。ですから、若い世代の方には可能性を信じて、力の限りとおんがらばって欲しいですね。

られたのも若さ故だったのでしよう。統制が解け、自由競争へ

岩城 醸造業は戦後の時期は統制経済で、だいぶ助かったような気がします。しかし、自由競争の時代になり、商売は二気に競争が激化しました。私はこのままではいけないと小売店に卸すだけでなく、当時では画期的な製造直売及び一般家庭への配達を始めました。配達先は加世田市で二千件程あつたでしょう。またトラックも購入し、販路を拡大、南薩地区の殆どの小売店に卸販売するまでになりました。妻は従業員と直売店で小売りや配達の注文を受けたりと、夫婦で店の信用を得る為に無我夢中で働きました。

学友との絆、そして後輩達へ

岩城 経國科の名前をとって経声会という校友の集まりがあります。30年程交流が続いております。また、東洋大学が創立百十周年記念に建立された平和記念碑の除幕式にも参加させていただきました。

岩城 最後にになりましたが、後輩に向けてメッセージをいただけませんか。

桐原 東洋大学は新校舎ができ、箱根駅伝で優勝するなど人気も高く、受験者も格段に多くなつたとうかがっています。私の時代に比べれば、勉強しようと思えばどれだけでもできる環境が整っています。ですから、若い世代の方には可能性を信じて、力の限りとおんがらばって欲しいですね。

岩城 醸造業は戦後の時期は統制経済で、だいぶ助かったような気がします。しかし、自由競争の時代になり、商売は二気に競争が激化しました。私はこのままではいけないと小売店に卸すだけでなく、当時では画期的な製造直売及び一般家庭への配達を始めました。配達先は加世田市で二千件程あつたでしょう。またトラックも購入し、販路を拡大、南薩地区の殆どの小売店に卸販売するまでになりました。妻は従業員と直売店で小売りや配達の注文を受けたりと、夫婦で店の信用を得る為に無我夢中で働きました。

岩城 今、振り返ってみますと創業からあつという間に経つた63年でした。妻をはじめ周りの多くの人たちに支えられてきたから、昭和・平成という時代を歩んで来ることが出来たのだと感謝の気持ちでいっぱいです。

岩城 学友との絆、そして後輩達へ

桐原 醸造業は戦後の時期は統制経済で、だいぶ助かったような気がします。しかし、自由競争の時代になり、商売は二気に競争が激化しました。私はこのままではいけないと小売店に卸すだけでなく、当時では画期的な製造直売及び一般家庭への配達を始めました。配達先は加世田市で二千件程あつたでしょう。またトラックも購入し、販路を拡大、南薩地区の殆どの小売店に卸販売するまでになりました。妻は従業員と直売店で小売りや配達の注文を受けたりと、夫婦で店の信用を得る為に無我夢中で働きました。

岩城 今、振り返ってみますと創業からあつという間に経つた63年でした。妻をはじめ周りの多くの人たちに支えられてきたから、昭和・平成という時代を歩んで来ることが出来たのだと感謝の気持ちでいっぱいです。

岩城 学友との絆、そして後輩達へ

桐原 醸造業は戦後の時期は統制経済で、だいぶ助かったような気がします。しかし、自由競争の時代になり、商売は二気に競争が激化しました。私はこのままではいけないと小売店に卸すだけでなく、当時では画期的な製造直売及び一般家庭への配達を始めました。配達先は加世田市で二千件程あつたでしょう。またトラックも購入し、販路を拡大、南薩地区の殆どの小売店に卸販売するまでになりました。妻は従業員と直売店で小売りや配達の注文を受けたりと、夫婦で店の信用を得る為に無我夢中で働きました。

られたのも若さ故だったのでしよう。統制が解け、自由競争へ



戦後～高度経済成長期は、桐原さんにとっても桐原醸造の復興期であった。夫婦で懸命の努力の末、親の家業を再興させた。
⑥24才の時オート三輪の免許を取って営業に励んだ。(昭和24年)
⑦トラックを購入。多くの4斗樽(75kg)を一人で小売店へ卸していた。(昭和35年)
⑧加世田中心部に建てた住居を兼ねた桐原醸造直売店。(昭和40年)